

2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース				教科担任
理科	物理（前半）	3	2年次				藤井 隆徳
使用教科書	数研出版「総合物理」		使用副教材		数研出版「四訂版ワークLightワーク物理」 「フォローアップドリル 物理 力と運動・熱と気体」		
科目の目標				道徳教育のねらい			
物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				自然の事物・現象を探究する活動を通して、身近な現象などについて考えさせ、自然と人間との関わりについて認識させることで、自然科学の保全に寄与する態度の育成につなげる。見通しをもって観察、実験を行うことで、科学的に探究する力を育て、科学的に探究しようとする態度を養い、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度の育成する。			
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自己認知・協働力	計画実行力
1	1編 さまざまな運動	○	○	○		○	○
2	2編 波	○	○	○		○	○
3	3編 電気と磁気	○	○	○		○	○
4	4編 原子	○	○	○		○	○
5							
6							
7	小テスト 単元テスト	○	○	○	○	○	○
8	課題提出（問題集）	○	○	○	○	○	○
9	課題提出（レポート等）	○	○	○	○	○	○
10	学び合い活動（グループ活動等）	○	○	○	○	○	○
11	実験実習 等	○	○	○	○	○	○
評価の観点	知識・技能		思考 判断 表現			主体的に学ぶ態度	
	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。		物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	小テスト	その他の資料
	知識・技能	◎	◎	△	△	◎	○
	思考 判断 表現	◎	◎	◎	◎	◎	○
主体的に学ぶ態度	○	◎	○	○	◎	○	

物理（前半） 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前	4月 3 7 9	41 力と運動 前期中間考査	運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方にに基づき、物体の運動を探求し、力と運動に関する概念や原理・法則などを系統的に理解する。	力のつり合いと合成・分解	3	
				力のモーメント	4	
				平面上の運動	2	
	5月 13			放物運動	4	
	20			円運動	7	
	6月 22			慣性力	2	
	28			万有引力	6	
	32			単振動	4	
	7月 36			運動量保存の法則	4	
	期			8月 38 41	14 熱 前期期末考査	
		運動量と力積	3			
9月 44		気体の性質	3			
47		気体分子の熱運動	3			
52		気体の状態変化	5			
10月 55		熱機関と熱力学第2法則	3			
57		波の表し方	2			
62		波の伝わり方	5			
64		音の性質	2			
後		11月 69 73	25 波 後期中間考査	水面波、音、光などの波動現象を探求し、共通する基本的な概念や法則を系統的に理解する。		ドップラー効果
		光の伝わり方			4	
	78	光の回折と干渉			5	
	12月 80	レンズと鏡			2	
	84	静電気			4	
	期	1月 89 2月 93 97 3月 101 105			25 電気と磁気	電気や磁気に関する現象を探求し、電気と磁気に関する基本的な概念や法則を系統的に理解する。
		電位	4			
		電界の中の物体	4			
		コンデンサー	4			
		電流	4			